

## 1. 医療画像連携の現状

PACS (Picture Archiving and Communication System)

CT, MRI, レントゲンフィルムなどの医療用画像データをネットワークでやりとりすること

医療画像データの配信、画像の保存フォーマットは、DICOM という規格で統一されており、地域の病院と地域外専門医など、異なる病院間での連携を可能にする多くのシステムやサービスが提供されています。

しかし、連携用システムやサービスを利用するためには次の課題があります。

- ・ 利用料金 (1施設数万円/月~程度) が必要
- ・ 院内の医療画像データを連携用のシステムやサービスに登録する手間がかかる  
または、医療画像サーバーを連携用のシステムやサービスに連動させる費用がかかる

## 2. Z連携の利用

特徴

既存の端末 (パソコン、タブレット、スマートフォン) で利用可能  
低価格で利用可能 ※実証期間中無料

連絡BOX機能



相手 (Z連携メンバー) を指定してメッセージのやり取りができる機能

- ・ ファイル添付、画像添付可能
- ・ メッセージ投稿するとメール通知
- ・ やり取りは保存され、関係者のみ参照可能

テレビ電話連動

※現状skype

相手 (Z連携メンバー) を指定してテレビ電話をかけられる機能

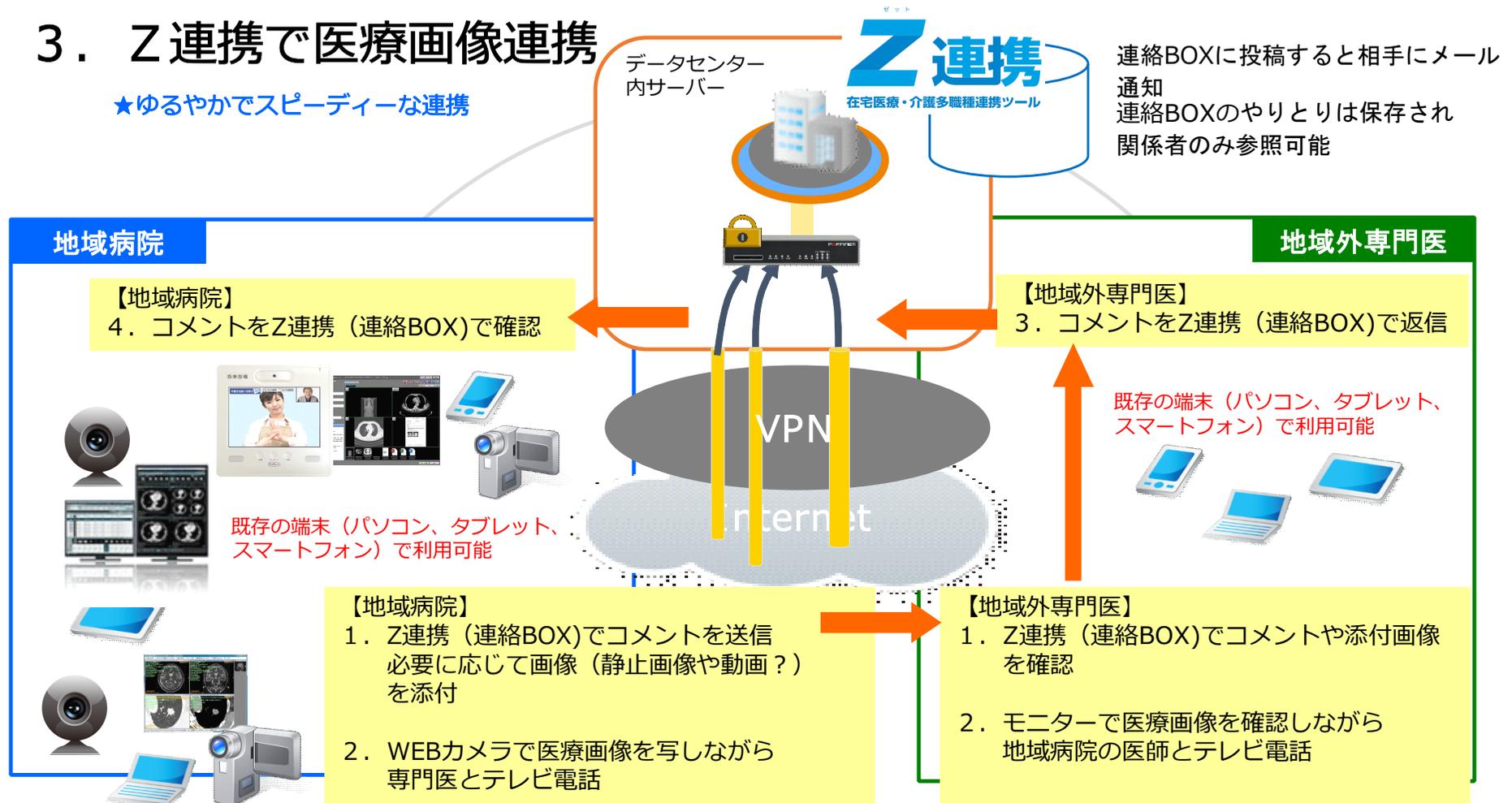
- ・ 実績、メッセージを記録、関係者のみ参照可能

★ゆるやかでスピーディーな連携

院内の医療画像データを  
テレビ電話で写して  
専門医のコンサルテーション  
を受ける

### 3. Z連携で医療画像連携

★ゆるやかでスピーディーな連携



運用ポリシー

個人を特定できる情報は付与しない。療養者情報とも紐付けしない。